令和８年度　第２回　障害者施策推進分科会専門部会

◇　日　時　　令和８年10月14日（水曜日）
　　午後３時45分から

◇　場　所　　茨木市役所南館10階大会議室

《次　第》

１　開　　会

２　議　　題

（１）　茨木市立障害福祉センターハートフルについて

（２）　その他

３　閉　　会

茨　　木　　市

資料１－１

専門部会の概要について

	障害者就労支援センターかしの木園	障害福祉センターハートフル	障害者生活支援センターともしび園
現状実施しているサービス	就労移行支援事業	地域活動支援センターⅡ型事業	生活介護事業
	就労定着支援事業	生活介護事業	日帰りショートステイ事業
		入浴サービス	
あり方検討の主なポイント	「就労支援センター」として期待される役割	貸館の利用対象者拡大	
		地域活動支援センターの役割についての検討	
前回（R3年度）のあり方検討での主な意見	一般就労を意識した役割を期待する（企業開拓・企業支援など、対障害者でなく対企業も含む）。	館の利用対象が広がること自体は悪くないが、それが障害のある人とない人との交流につながるなど、障害福祉にとってプラスになるものでなければならない。	令和10年度に検討予定
		単純な貸館として利用拡大をすることは適当でない。	
	市内の障害者就労支援の中心を担う施設として、他の事業所を束ねるような役割が必要。	Ⅱ型や入浴サービスは、少なくてもニーズのある必要なサービスであり、無くすことより活かす方法を考える方向が適当。	

【論点整理】

	論点	議論いただきたい内容
共通事項	市立障害者施設として担うべき役割について	①各センターの機能は、障害者等のニーズに合致しているか（指定管理料に見合う内容かも含めて）
		② ①を踏まえ市による実施かつ市立施設でなければ実施困難な事業か
		③建物としてのスペースや機能を十分に活用しているか
かしの木園	「障害者就労」としての役割について	障害者の一般就労を支援する施設として求められる役割について
ハートフル	市立地域活動支援センターが担うべき役割について	市内地域活動支援センターの数の減少等に伴う地域活動支援センターの再編に当たり、より効果的なものにする手法について

資料１－２

市立障害者施設が実施しているサービスの市内状況等について

	平成25年度					平成30年度					令和５年度					令和８年度				
	市内事業者数（か所）	利用定員数（人）	支給決定者数（人）	市内事業所利用者数（人）	市外事業所利用者数（人）	市内事業者数（か所）	利用定員数（人）	支給決定者数（人）	市内事業所利用者数（人）	市外事業所利用者数（人）	市内事業者数（か所）	利用定員数（人）	支給決定者数（人）	市内事業所利用者数（人）	市外事業所利用者数（人）	市内事業者数（か所）	利用定員数（人）	支給決定者数（人）	市内事業所利用者数（人）	市外事業所利用者数（人）
生活介護	16	608	438	283	138	20	716	581	392	161	30	839	650	464	190	29	784	666	494	246
（うち入浴可能事業所）	8	395	－	104	－	10	558	－	252	－	16	583	－	285	－	17	553	－	320	－
就労移行支援	4	70	35	23	8	4	90	74	28	48	5	90	109	39	66	5	77	119	37	74
就労定着支援	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	4	－	56	32	23	4	－	74	29	31
地域活動支援センター（Ⅱ型）	1	50	109	75	0	1	50	76	49	1	1	50	46	26	1	1	50	37	24	1

※１　市内事業者数、利用定員数、支給決定者数は各年度４月１日時点における数値

※２　市内・市外事業所利用者数の人数は、各年度４月中の利用者数

資料１－３

公の施設評価シート

１ 施設及び指定管理者について

施設名等	施設名			所管課名
	茨木市立障害福祉センター　ハートフル			障害福祉課
施設所在地	茨木市片桐町4番26号			
指定管理者	（社福）大阪府障害者福祉事業団	指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日	
設置目的及び選定理由	【設置目的】 障害者に対して相談、訓練、文化、情報等の機会のより良い提供や障害者の地域社会での自立生活の増進及び福祉の向上 【選定理由】 類似施設における実施実績が豊富であり、蓄積されたノウハウを生かし、様々な地域住民参加型交流事業や啓発事業など、障害者との交流・協働を目的とした事業について提案がなされているため。			
施設概要	敷地面積	2303 ㎡	延床面積	4256 ㎡
	竣工年月	平成8年3月	改修年月	－
	主な実施事業	生活介護事業、地域生活支援事業、入浴サービス、講座、研修及び啓発に関する業務、貸室事業		
	主な自主事業	福祉情報収集・公開、市民芸術の促進・支援		
	部屋・設備	事務室（1室）大会議室（1室）、会議室（3室）、和室（1室）、音楽室（1室）、OA室（1室）、調理実習室（1室）、多目的訓練室（1室）、入浴室（1室）、更衣室（2室）、交流室（1室）、地域活動支援センターⅡ型（3室）、生活介護（3室）		
	目的外使用	自動販売機置場（1.80㎡）		
	備考	中央保健福祉センター（156.87㎡）		
運営状況	利用時間	午前9時から午後9時30分		
	定休日	月曜日、祝日、12/29から1/3まで		
	年間利用日数	301日		
	備考	－		

料金等	使用料／利用料金の有無	使用料／利用料金制	指定管理料の支払い
	有料	利用料金制	有

第6次総合計画関連取組			
	章	1	ともに支え合い、健やかに暮らせるまち
	施策	3	障害者への支援を推進する
	取組	3	障害者の社会活動への参加促進

２ 利用状況について

	指標	稼働率の算出	単位	現指定管理者 R4年度 実績	現指定管理者 R5年度 実績	現指定管理者 R6年度 実績	現指定管理者 R7年度 実績	現指定管理者 R7年度 目標	現指定管理者 R8年度 目標
年間利用数	地域生活支援事業利用者数	延利用者数/（定員×開所日数）の月平均	延利用者数	1,678	1,490	1,446	1,417	1,500	1,873
			稼働率	13.7%	12.2%	11.3%	11.3%	12.0%	15.0%
	入浴サービス利用者数	－	延利用者数	1,838	2,377	2,433	2,369	2,500	2,470
			稼働率	－	－	－	－	－	－
	生活介護事業利用者数	延利用者数/（定員×開所日数）の月平均	延利用者数	2,103	2,583	2,671	3,061	2,825	3,305
			稼働率	42.7%	52.7%	53.2%	61.2%	56.5%	66.1%

3.収支状況について

（単位：千円）

	内訳		現指定管理者	現指定管理者	現指定管理者	現指定管理者			現指定管理者
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			R8年度
			決算額	決算額	決算額	予算額	決算額	執行率	予算額
指定管理者	指定管理業務	支出	総支出額	161,056	167,347	172,873	174,378	191,000	109.5%	175,252
			人件費	82,082	77,428	78,561	83,114	94,269	113.4%	83,988
			報償費	2,567	2,800	2,622	2,550	3,209	125.8%	2,550
			消耗品費	7,144	5,702	6,433	2,100	5,320	253.3%	1,200
			光熱水費	8,081	7,431	8,731	9,446	8,746	92.6%	9,446
			修繕料	2,451	2,616	3,344	2,100	5,968	284.2%	2,100
			手数料	2,832	2,102	2,103	2,119	2,221	104.8%	2,119
			委託料	38,500	49,409	50,841	51,269	52,842	103.1%	51,269
			その他経費	17,399	19,859	20,238	21,680	18,425	85.0%	22,580
		収入	総収入額	171,002	177,075	180,825	174,678	200,941	115.0%	175,552
			指定管理料	130,316	129,655	129,655	130,666	130,666	100.0%	130,666
			事業費等収入	38,966	45,656	49,329	42,198	68,414	162.1%	43,053
			利用料等収入	865	1,011	1,071	927	1,187	128.0%	946
			その他	855	753	770	887	674	76.0%	887
		収入―支出		9,946	9,728	7,952	300	9,941	3313.7%	300
	自主事業	総支出額		0	300	300	300	300	100.0%	300
		総収入額		0	0	0	0	0		
		収入―支出		0	▲ 300	▲ 300	▲ 300	▲ 300	100.0%	▲ 300
	【全体】収入―支出			9,946	9,428	7,652	0	9,641		0

	内訳		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			R8年度
			決算額	決算額	決算額	予算額	決算額	執行率	予算額
市	支出	総支出額	130,436	129,655	129,655	130,666	130,666	100.0%	130,666
		指定管理料	130,316	129,655	129,655	130,666	130,666	100.0%	130,666
		補償金	120	0	0	0	0		0
	収入	総収入額	745	743	751	1,748	1,673	95.7%	1,756
		目的外使用料	690	690	690	807	797	98.8%	807
		自動販売機電気使用料	55	53	61	941	876	93.1%	949

資料２－１

ハートフルにおける利用者等について

1　地域活動支援センターⅡ型事業（令和８年４月１日時点、契約者数 40 人）

(1) 利用者の年齢層について

年代	人数
10 代～20 代	1 人
30 代	4 人
40 代	9 人
50 代以上	26 人

(2) 利用者の障害種別について

	身体障害	知的障害	精神障害	難病
人数	29 人	11 人	0 人	0 人

(3) 利用者の障害支援区分について

	なし	区分１	区分２	区分３	区分４	区分５	区分６
人数	0 人	26 人	10 人	4 人	0 人	0 人	0 人

(4) 利用者の利用年数について

利用年数	人数
３年未満	4 人
３年以上５年未満	3 人
５年以上 10 年未満	5 人
10 年以上	28 人

(5) 支援内容

機能訓練、作業療法、創作活動等

（6）令和５年度～令和７年度に退所された方の退所理由

理由	人数	
他のサービスに移行	就労移行事業所	0 人
	Ａ型事業所	0 人
	Ｂ型事業所	0 人
	生活介護	1 人
	その他	0 人
就職		0 人
転出・死亡		0 人
その他（※）		4 人

※施設入所、介護保険に移行等

２　生活介護事業（令和８年４月１日時点、契約者数 30 人）

（1）利用者の年齢層について

年代	人数
10 代～20 代	13 人
30 代	2 人
40 代	8 人
50 代以上	7 人

（2）利用者の障害種別について

	身体障害	知的障害	精神障害	難病
人数	22 人	21 人	5 人	3 人

（3）利用者の障害支援区分について

	なし	区分１	区分２	区分３	区分４	区分５	区分６
人数	0 人	0 人	0 人	1 人	2 人	4 人	23 人

（4）利用者の利用年数について

利用年数	人数
３年未満	11 人
３年以上５年未満	3 人
５年以上 10 年未満	5 人
10 年以上	11 人

(5) 令和５年度～令和７年度に退所された方の退所理由

理由	人数
他の生活介護事業所への移行	1人
施設入所・入院	1人
他のサービスに移行	就労移行事業所 0人 Ａ型事業所 0人 Ｂ型事業所 0人 生活介護 0人 その他 1人
転出・死亡	4人
その他（※）	0人

(6) ハートフル以外に他の生活介護事業所を利用している方・理由

人数	主な理由
17人	月曜日が閉所又は土曜日のみ利用する場合(他生活介護が休み)のため、

(7) 医療的ケアを必要とする利用者

人数	医療的ケアの内容
6人	胃ろう、喀痰吸引、呼吸器、摘便、導尿等

3　自主事業

(1) 福祉情報集積・公開

福祉的図書・動画等の集積と市民への閲覧及び学習機会の提供、施策制度や関係法令の改正時に市民（障害者）への情報があった場合の情報公開を行う。また、館内活動団体の活動内容やおしらせの開示する（段階的に実施)。

(2) 市民芸術の推進・支援

障害者を中心にした、市民芸術の発表の機会を企画実施する。また、作品展・アールブリュット展・茨バ・ター展の開催や市民芸術作家の発掘・支援も行う。

(3) 館内緊急時の設備保全

ALSOK ガードシステムである設備レスキューサービスを利用し、建物設備の異常発生を受けて出動した隊員が、DX ツールの映像通話機能により建物設備専門家から業務支援を受けることにより、原因究明・応急処置・報告を行う。

資料２－２

施設利用状況について

１　図面

別紙１参照

２　利用状況について

(1)事務室（図面番号①）

貸館業務の受付や指定管理業務全般の事務が実施されている。

(2)情報コーナー（図面番号②）

自主事業で福祉的図書等を設置し、情報提供の場としている。

(3)ロビー（図面番号③）

机とイスが設置され、主に利用者の待ち合わせや談話等で使用されている。

(4)中央保健福祉センター（図面番号④）

令和６年度にハートフル内に設置し、保健や福祉の身近な窓口となっている。なお、中央保健福祉センターの業務は指定管理業務には含まれていない。

(5)相談室（図面番号⑤・⑧）

図面番号⑤の相談室で生活介護事業利用者の、図面番号⑧の相談室で地域活動支援センター事業利用者の相談や面談を行っている。

(6)生活介護事業室（図面番号⑥・⑦・⑩）

図面番号⑥の部屋では自力では移動できない重度の方や医療的ケアを必要とされる方が、図面番号⑦の部屋ではご自身で移動できる方が日中を過ごしている。図面番号⑩の部屋は食事を摂る部屋として使用している。

(7)OA 研修室（図面番号⑨）

パソコンが設置されており、主にハートフルの職員が事務作業で使用している。

(8)地域活動支援センター事業室（図面番号⑪）

筋力トレーニングや歩行訓練等の機能訓練を実施している。

(9)備蓄倉庫（図面番号⑭）

防災時の備蓄品等を保管している。

(10)交流室（図面番号⑯）

生活介護事業のレクリエーションや指定管理者の会議室等、幅広い用途で使用されている。

(11)創作活動室（図面番号⑱）

ハートフル講座の絵画教室や陶芸教室で利用されている。

(12)談話交流室（図面番号㉑）

各団体が利用できるロッカーが設置されている。

(13)陶芸窯室（図面番号㉔）

２種類の陶芸窯があり、ハートフル講座の陶芸教室で制作された作品を焼いている。

(14)浴室（図面番号㉕）

生活介護事業利用者や家庭で入浴が困難な方に入浴サービスを提供している。特殊浴槽３基（うち座位浴１基）と一般浴槽（個浴）１基の計４基設置されている。

３　貸室の利用状況について

(1)貸室一覧

・会議室（図面番号⑫）
・調理実習室（図面番号⑬）
・研修室（図面番号⑮）
・多目的訓練室（図面番号⑰）
・和室（図面番号⑲）
・音楽室（図面番号⑳）
・第１・２会議室（図面番号㉒）
・大会議室（図面番号㉓）

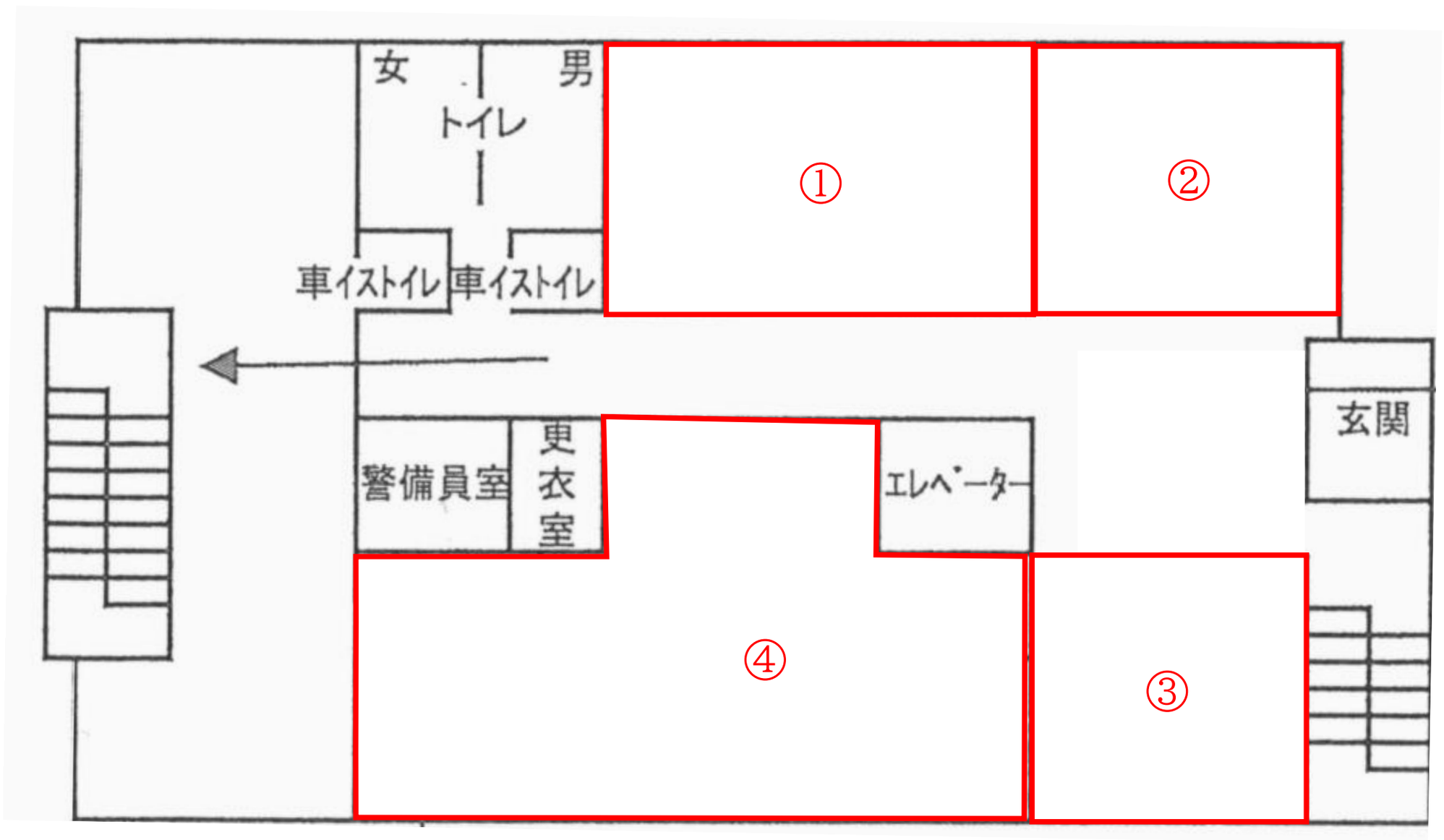
(2)利用状況

別紙２参照

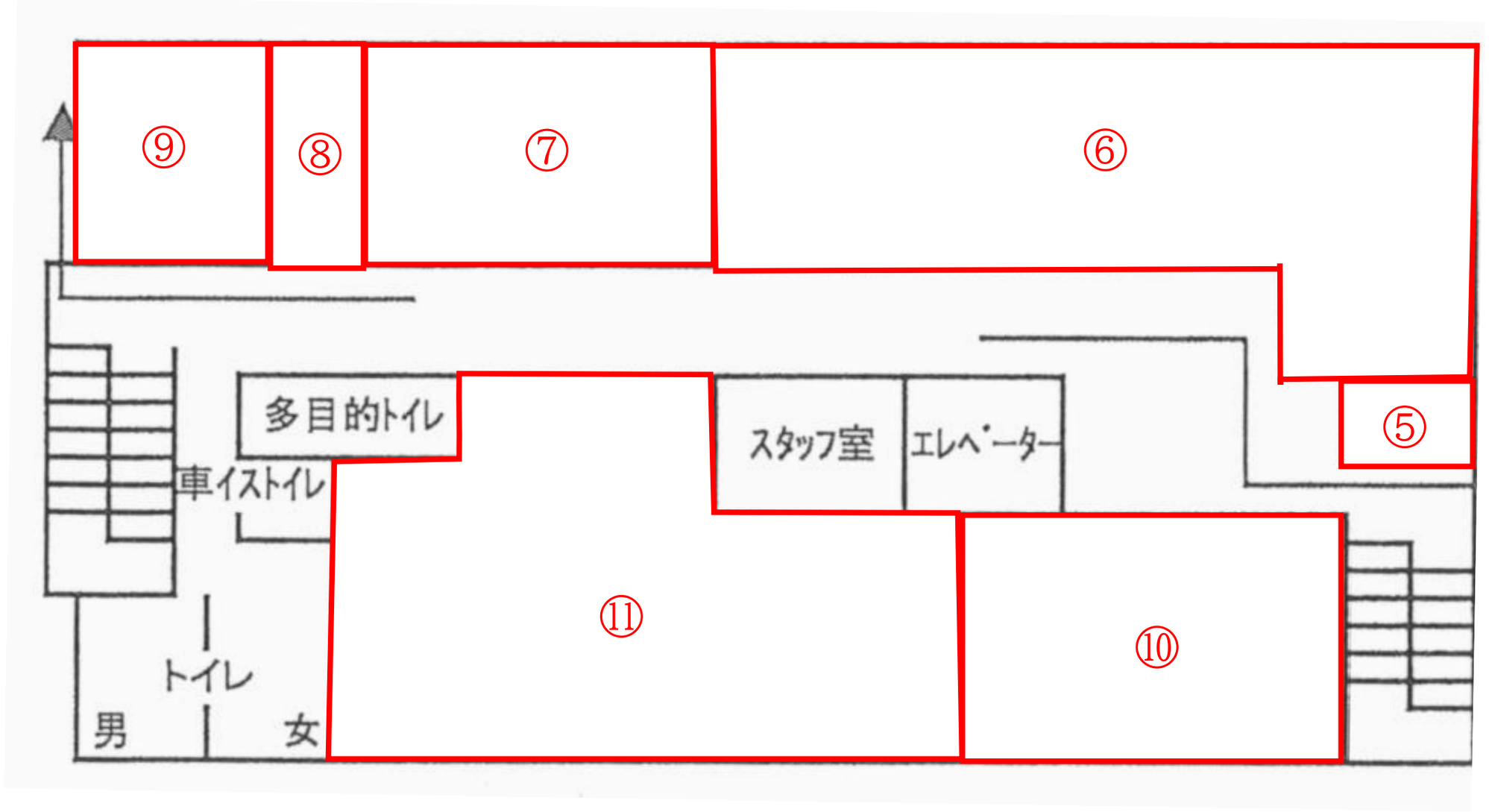
図面（ハートフル）

別紙１

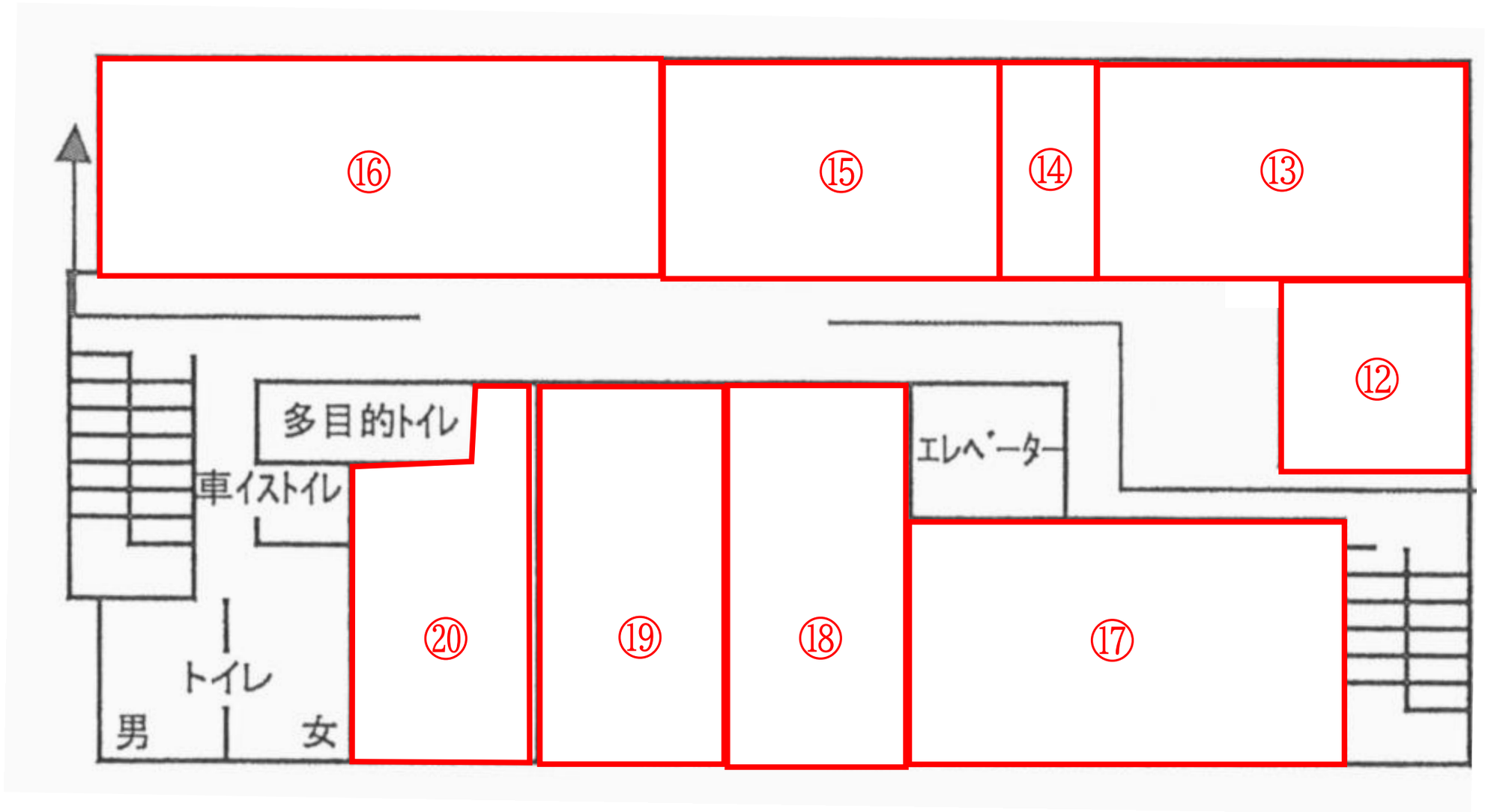
１階



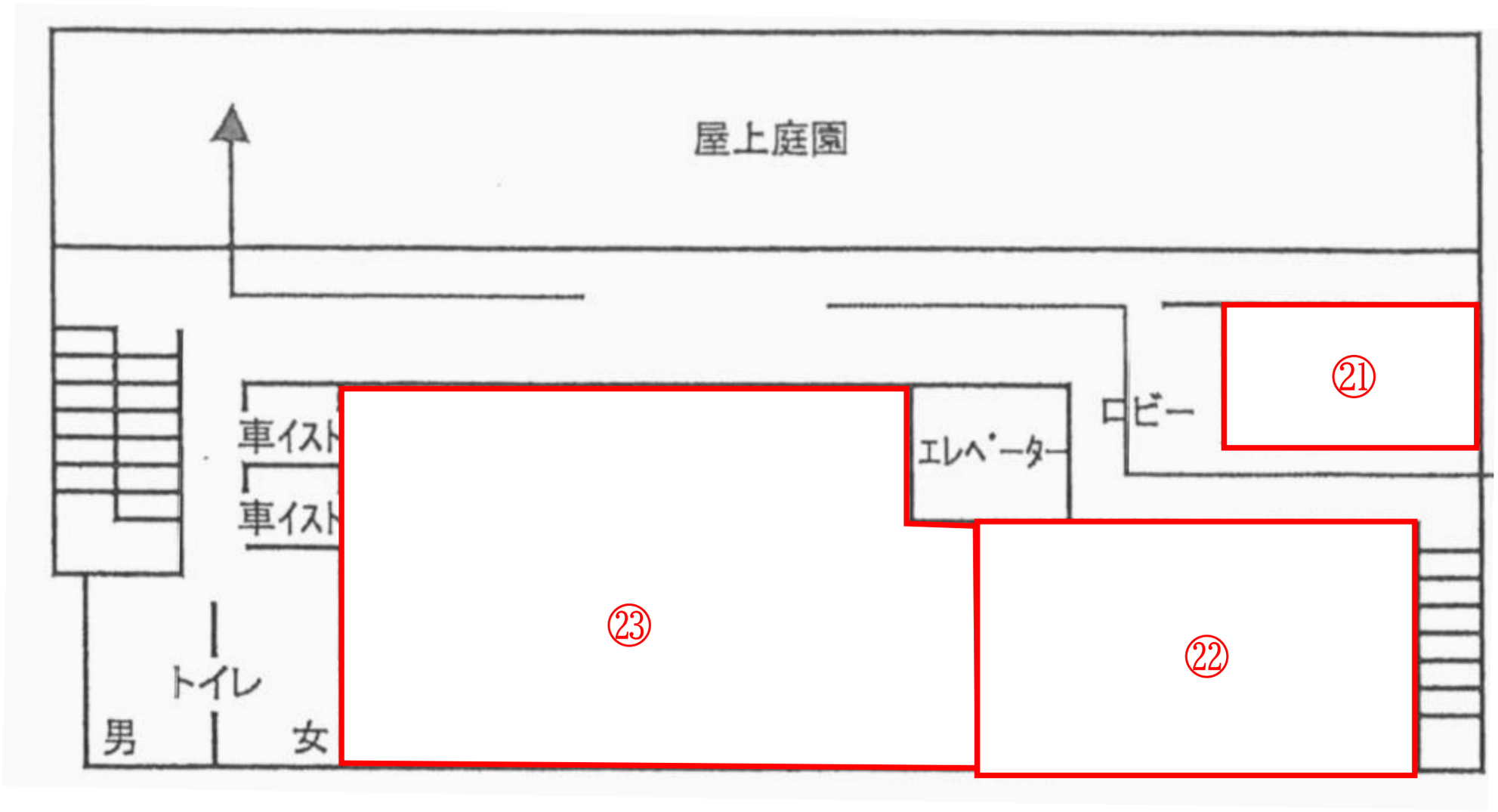
２階



３階


⑯
⑮
⑭
⑬
⑫
多目的トイレ
車イストイレ
エレベーター
⑳
⑲
⑱
⑰
トイレ
男
女

４階


屋上庭園
車イスト
車イスト
エレベーター
ロビー
㉑
㉓
㉒
トイレ
男
女

地下１階



ハートフル　貸室利用状況

別紙２

貸室名	令和５年度			令和６年度			令和７年度		
	合計	月平均	稼働率	合計	月平均	稼働率	合計	月平均	稼働率
大会議室	447	37.3	50.5%	459	38.3	50.8%	476	39.7	52.7%
多目的室（会議室）	214	17.8	24.2%	241	20.1	26.7%	242	20.2	26.8%
研修室	230	19.2	26.0%	219	18.3	24.3%	222	18.5	24.6%
音楽室	133	11.1	22.5%	151	12.6	25.1%	260	21.7	43.2%
第１・第２会議室	388	32.3	43.8%	378	31.5	41.9%	391	32.6	43.3%
多目的訓練室	223	18.6	25.2%	244	20.3	27.0%	261	21.8	28.9%
調理実習室	60	5.0	10.2%	54	4.5	9.0%	54	4.5	9.0%
和室	154	12.8	17.4%	165	13.8	18.3%	145	12.1	16.1%
合計	1,849	－	28.5%	1,911	－	28.9%	2,051	－	31.0%

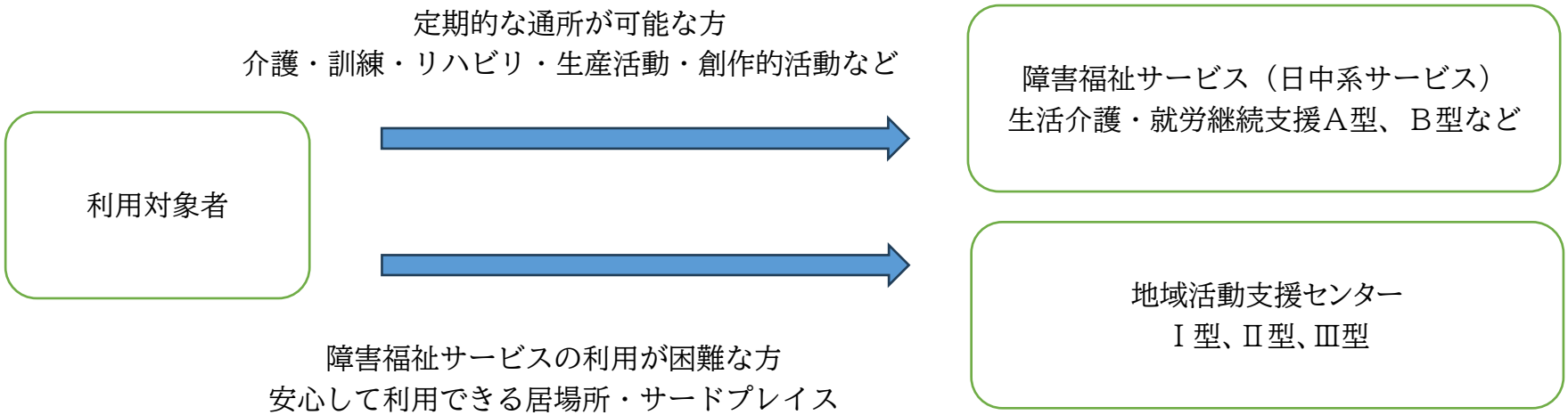
資料２－３

地域活動支援センターについて

１　ハートフル地域活動支援センターの再編について

①地域活動支援センターの概要

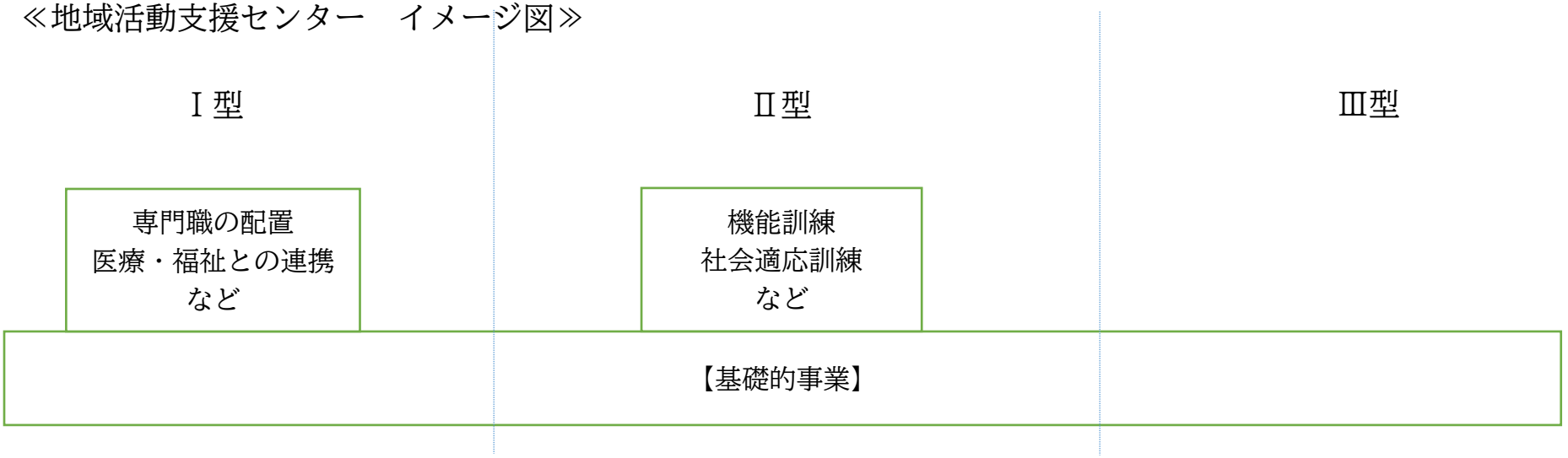
障害者・障害児（利用者）が、地域において自立した日常生活や、社会生活を営むことができるように、利用者を通わせて創作的活動又は生産活動の機会を提供し、社会との交流の促進を図るとともに、日常生活に必要な便宜の供与を適切かつ効果的に行う施設



②地域活動支援センターの種類と市内の整備状況について

サービス種別	事業概要	整備数		
		Ｒ７年度	Ｒ８年度	Ｒ９年度
Ⅰ型	基礎的事業に加え、　専門職（精神保健保健福祉士等）の配置、医療・福祉及び地域の社会基盤との連携強化のための調整、地域住民ボランティア育成、障害理解促進のための普及啓発	1	1	1
Ⅱ型	基礎的事業に加え、　機能訓練、社会適応訓練、入浴等	1	1	1
Ⅲ型	【基礎的事業】創作的活動、生産活動、社会との交流、日常生活に必要な便宜の供与	1	0	0

≪地域活動支援センター　イメージ図≫



③地域活動支援センター事業を取り巻く状況について

サービス種別	現状と令和９年度末までの状況
Ⅰ型	令和９年度末で現行の受託法人による運営が終了
Ⅱ型	現行の指定管理期間（Ｒ９年度末）までは、Ⅱ型としての運営を継続
Ⅲ型	令和７年度末で、運営終了

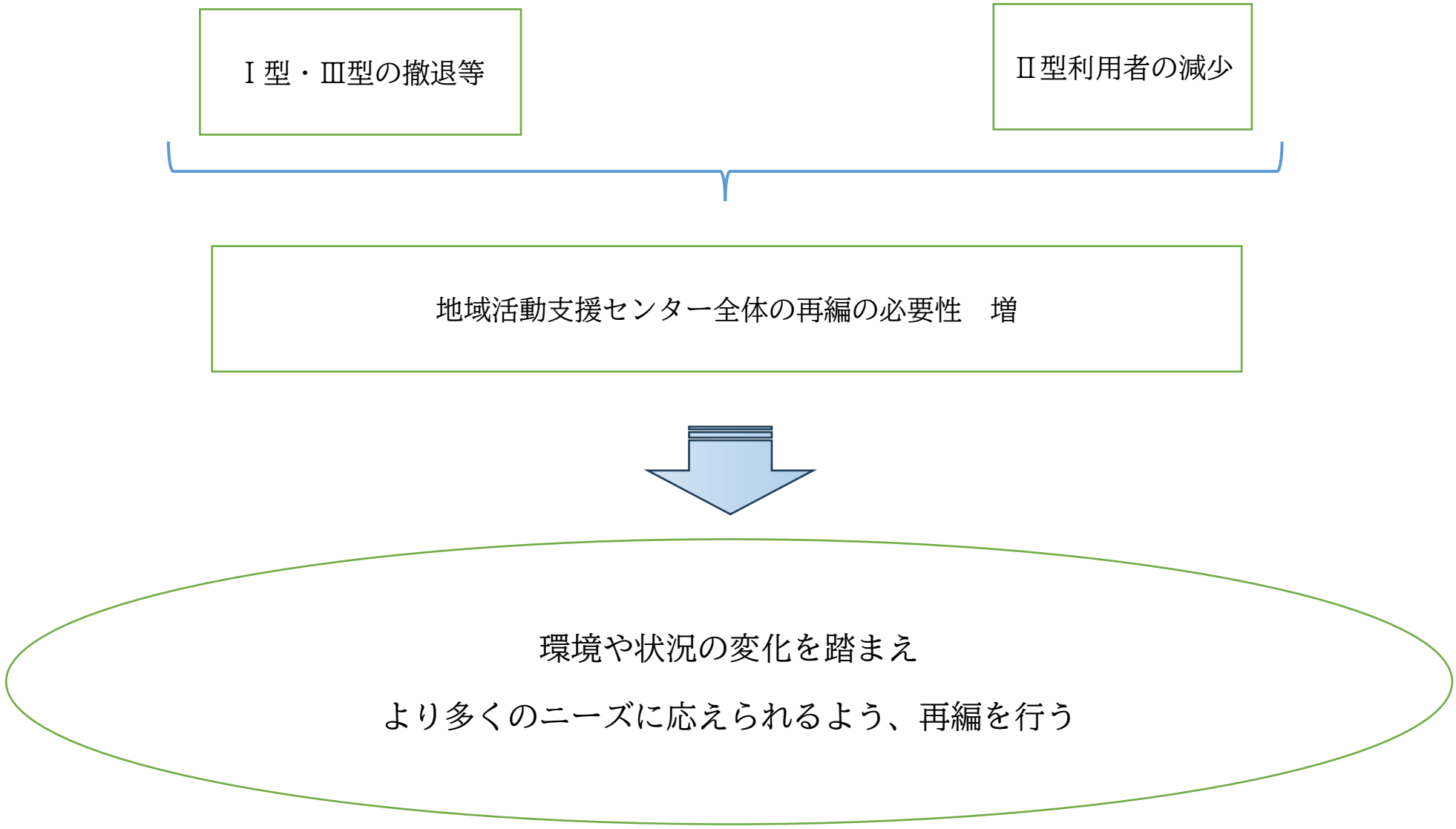
④ハートフル地域活動支援センターⅡ型の利用状況について

	平成25年度	
ハートフル	支給決定者数（人）	事業所利用者数（人）
地域活動支援センターⅡ型	１０９	７５



	令和８年度	
ハートフル	支給決定者数（人）	事業所利用者数（人）
地域活動支援センターⅡ型	３６	２４

⑤地域活動支援センター事業全体の再編の必要性について



２　ハートフル地域活動支援センター　再編後の事業内容について（予定）

	令和９年度末まで（現指定管理）	令和10年度から（次期指定管理）
類型	Ⅱ型	Ⅲ型
内容	機能訓練、作業療法、社会適応訓練　が中心	創作的活動、生産活動、社会との交流　が中心
支給決定	必要	不要（登録制（検討中））

・これまでの機能訓練、作業療法、社会適応訓練等の訓練中心の事業から、創作的活動や生産活動等の社会との交流の促進を中心とした事業に転換（Ⅱ型からⅢ型へ）

・機能訓練機器は、利用頻度の高いものは残し、常時ではないが機能訓練指導員を配置予定

・利用に当たっては、これまで支給決定を必要としていたが、より利用しやすい環境を整えるため、支給決定を必要としない、「登録制」への移行を検討中

３　今後のスケジュールについて

令和８年９月	利用者説明会
10月	障害者施策推進分科会専門部会
令和９年８月頃	次期指定管理者募集案内
令和９年11月頃	次期指定管理者選定
令和10年４月	再編後の運営開始

４　その他

参考資料１

ハートフルにおける要望・満足度調査について

満足度調査等の中でハートフルに関する内容は下記のとおりです（全文表記ではなく、いくつかの意見をまとめたり、概要を記載したりしています）。

１　各項目回答率

別紙参照（指定管理者候補者選定委員会（モニタリング）資料より抜粋）

２　生活介護事業

・生活介護の場所が狭いと感じる。

A.利用者の増加に伴い、活動場所を２部屋に増やして対応している。

・体調不良者が同じフロアで過ごすことが心配です。

A.発熱や体調不良者があれば、医療スタッフと連携しマニュアルに沿って感染症の拡大予防に務めている。

・遠足などの楽しい行事を増やしてほしい

A.プログラムは、利用されるかたの要望を取り入れて充実していく。

３　地域活動支援センターⅡ型事業

・他のサービスの利用者が入ってくることが心配。

A.利用者は支援を必要とする方のため、支援者が連携をとって安全に配慮している。

４　貸室・講座・研修

・座布団等備品の汚れがある。

A.備品の点検をして、座布団など経年で劣化のあるものは、一斉にカバーの取り換えを行った。

・講座申し込み後の回答など、ウェブ対応のご要望

A.受付フォームによる申込で、システム上返信ができない。電話にて対応している。

・夏季のエアコンの設定温度について猛暑に対応してほしい。

A.貸室の空調設定気の付近に温度計を設置している。適宜設定を変更ください。

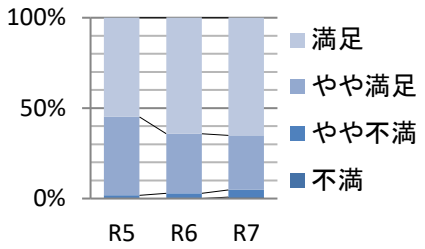
③アンケート実施結果

参考資料２

1 施設（事業所）からの情報提供や説明への満足度

	年度	総回答数	満足	やや満足	やや不満	不満
			回答数	回答数	回答数	回答数
			回答割合	回答割合	回答割合	回答割合
現指定管理者	R7	126	82	38	5	1
			65%	30%	4%	1%
現指定管理者	R6	106	68	35	3	0
			64%	33%	3%	0%
現指定管理者	R5	113	62	49	2	0
			55%	43%	2%	0%

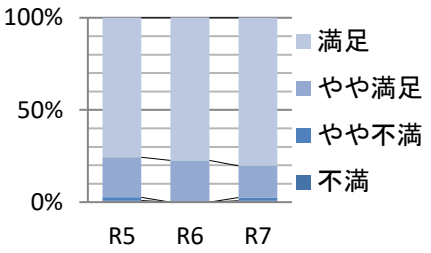
回答割合推移



2 職員の電話や面談のときの対応への満足度

	年度	総回答数	満足	やや満足	やや不満	不満
			回答数	回答数	回答数	回答数
			回答割合	回答割合	回答割合	回答割合
現指定管理者	R7	122	98	21	2	1
			80%	17%	2%	1%
現指定管理者	R6	106	82	24	0	0
			77%	23%	0%	0%
現指定管理者	R5	115	87	25	2	1
			76%	22%	2%	1%

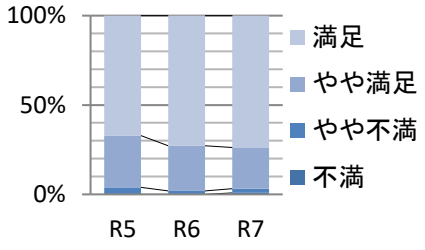
回答割合推移



3 職員への相談のしやすさにおける満足度

	年度	総回答数	満足	やや満足	やや不満	不満
			回答数	回答数	回答数	回答数
			回答割合	回答割合	回答割合	回答割合
現指定管理者	R7	122	90	28	3	1
			74%	23%	2%	1%
現指定管理者	R6	103	75	26	2	0
			73%	25%	2%	0%
現指定管理者	R5	76	51	22	3	0
			67%	29%	4%	0%

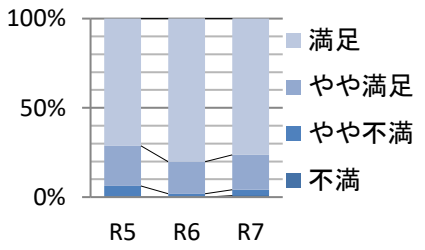
回答割合推移



4 職員の利用者への接し方や支援の仕方における満足度

	年度	総回答数	満足	やや満足	やや不満	不満
			回答数	回答数	回答数	回答数
			回答割合	回答割合	回答割合	回答割合
現指定管理者	R7	122	93	24	4	1
			76%	20%	3%	1%
現指定管理者	R6	106	85	19	2	0
			80%	18%	2%	0%
現指定管理者	R5	80	57	18	5	0
			71%	23%	6%	0%

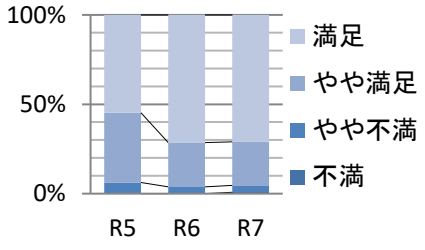
回答割合推移



5 施設（事業所）が提供するサービス内容への満足度

	年度	総回答数	満足	やや満足	やや不満	不満
			回答数	回答数	回答数	回答数
			回答割合	回答割合	回答割合	回答割合
現指定管理者	R7	128	91	31	5	1
			71%	24%	4%	1%
現指定管理者	R6	105	75	26	4	0
			71%	25%	4%	0%
現指定管理者	R5	64	35	25	4	0
			55%	39%	6%	0%

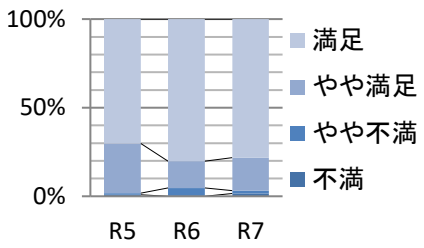
回答割合推移



6 施設（事業所）で利用者が楽しく活動しているか

	年度	総回答数	満足	やや満足	やや不満	不満
			回答数	回答数	回答数	回答数
			回答割合	回答割合	回答割合	回答割合
現指定管理者	R7	128	100	24	2	2
			78%	19%	2%	2%
現指定管理者	R6	106	85	16	5	0
			80%	15%	5%	0%
現指定管理者	R5	114	80	32	1	1
			70%	28%	1%	1%

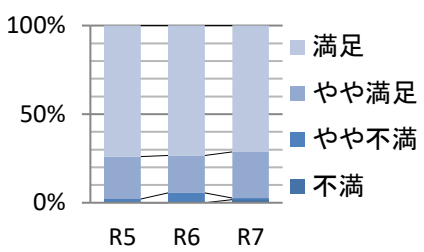
回答割合推移



7 施設（事業所）での私物の管理への満足度

	年度	総回答数	満足	やや満足	やや不満	不満
			回答数	回答数	回答数	回答数
			回答割合	回答割合	回答割合	回答割合
現指定管理者	R7	115	82	30	1	2
			71%	26%	1%	2%
現指定管理者	R6	90	66	19	5	0
			73%	21%	6%	0%
現指定管理者	R5	96	71	23	2	0
			74%	24%	2%	0%

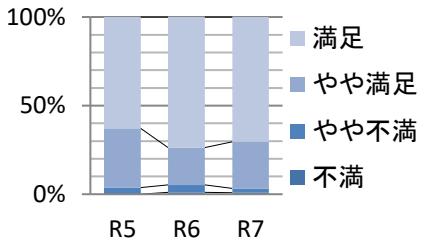
回答割合推移



8 施設（事業所）での環境への満足度

	年度	総回答数	満足	やや満足	やや不満	不満
			回答数	回答数	回答数	回答数
			回答割合	回答割合	回答割合	回答割合
現指定管理者	R7	122	86	32	3	1
			70%	26%	2%	1%
現指定管理者	R6	99	70	20	4	1
			71%	20%	4%	1%
現指定管理者	R5	105	66	35	4	0
			63%	33%	4%	0%

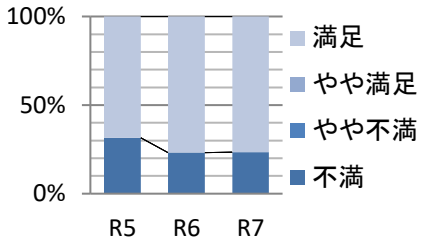
回答割合推移



9 施設（事業所）に対して不満があるか

	年度	総回答数	満足	やや満足	やや不満	不満
			回答数	回答数	回答数	回答数
			回答割合	回答割合	回答割合	回答割合
現指定管理者	R7	111	85	0	0	26
			77%	0%	0%	23%
現指定管理者	R6	95	73	0	0	22
			77%	0%	0%	23%
現指定管理者	R5	95	65	0	0	30
			68%	0%	0%	32%

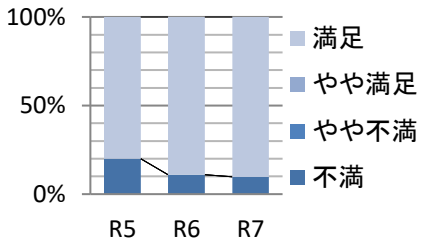
回答割合推移



10 施設（事業所）で良いところ、気にいっているところはあるか

	年度	総回答数	満足	やや満足	やや不満	不満
			回答数	回答数	回答数	回答数
			回答割合	回答割合	回答割合	回答割合
現指定管理者	R7	92	83	0	0	9
			90%	0%	0%	10%
現指定管理者	R6	82	73	0	0	9
			89%	0%	0%	11%
現指定管理者	R5	85	68	0	0	17
			80%	0%	0%	20%

回答割合推移



参考資料３

生活介護等における実績状況等について

（※令和８年度第１回茨木市障害者施策推進分科会資料「障害福祉計画（第７期）の取組状況等について」等から抜粋）

３　日中活動系サービス

サービス種別	単位	障害種別	令和５年度			令和６年度			令和７年度		
			見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率
生活介護	月平均利用者数【人/月】	身体障害者	140	141	101%	147	145	99%	151	141	93%
		知的障害者	455	430	95%	434	439	101%	440	443	101%
		精神障害者	41	46	112%	50	42	84%	52	40	77%
		合　計	636	617	97%	631	626	99%	643	624	97%
	月平均利用日数総数【人日/月】	身体障害者	2,422	2,398	99%	2,495	2,499	101%	2,568	2,429	95%
		知的障害者	8,080	8,305	103%	8,447	8,523	101%	8,599	8,570	99%
		精神障害者	458	564	123%	668	504	75%	735	514	70%
		合　計	10,960	11,267	103%	11,610	11,526	99%	11,902	11,513	97%
	定員数【人】		－	834	－	926	829	90%	972	829	85%

＊月平均利用日数総数＝「月間の平均利用人員」×「１人当たりの月平均利用日数」

９　地域活動支援センター

サービス種別		令和５年度			令和６年度			令和７年度		
		見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率
地域活動支援センターⅠ型	実施箇所数	1	1	100%	1	1	100%	1	1	100%
	年間利用者数	－	144	－	168	158	94%	176	156	89%
地域活動支援センターⅡ型	実施箇所数	1	1	100%	1	1	100%	1	1	100%
	年間利用者数	－	32	－	25	28	112%	22	26	118%
地域活動支援センターⅢ型	実施箇所数	2	1	50%	1	1	100%	1	1	100%
	年間利用者数	－	16	－	10	6	60%	10	7	70%

追加資料１

障害福祉センターハートフルについての意見集約票

①論点	②市として確認したい事項	③ご意見または、会議で確認したい事項等
市立障害者施設として担うべき役割について	①現在、ハートフルの機能は、障害者、障害関係団体等のニーズ等に合致しているか（指定管理料に見合う内容かも含めて）。	・ニーズに合致していると思う。特に貸室業務は障害者の活動の中心となっているため必要だ。 ・現指定管理事業者の自主事業のノウハウが指定管理事業にも活かされている。茨木市内の障害者関係団体との連絡・連携についての取り組みがあれば確認したい。入浴サービスの利用者及び利用者のニーズ等について、詳しく知りたい。医療的ケアの利用者及び利用者・利用者家族のニーズ等について、詳しく知りたい。 ・地域活動支援センターⅡ型事業には10年以上継続参加している人が多くその年代も５０才代となっており、なかなか新規の参加者が参加していないのではないかと思います。生活介護には障害が重いかたが参加されているが、3年未満の方は11名となっており新規の方も含めて利用があるように思います。一部の利用者のニーズに見合っているが、十分ニーズを満たしているとは言えない。自主事業もされているが、市民などへの理解度などは進んでいるのかそのような指標がみられないので市民にこの施設の事業などが伝わっていないかもしれない。
	② ①を踏まえ指定管理事業（地域活動支援センターⅡ型事業・生活介護事業等）は、市内のニーズとサービス量から見て市による実施かつ市立施設でなければ実施困難であるか。また、指定管理者が自主事業として実施する事業の公的意義をどのように捉えるか（民間事業者の代替可能性も含めて）。 ※市内のニーズとサービス量については、資料１―２参照	・障害者が安心して利用できるためにも、行政で実施すべきである。 ・今後の再編で機能を変更した際に、現利用者で継続の利用ができない方の行き先の確保できるのか詳しく知りたい。同じ建物内に中央保健福祉センターがあることで影響（メリット、デメリット）があるか聞きたい。他の文化・芸術活動に取り組む団体とのつながり、そのつながりにおいて指定管理者が担う役割について確認したい。 ・サービス量をみていると生活介護を行なっている事業者は29と平成25年度から2倍近くになっている。また、入浴可能事業者も17施設ある。このため、市独自の施設が生活介護を担っていく必要は必ずしもあるとはいえない。また、地域活動支援センターⅡ型は市内に1事業者であるが利用者数は年々減ってきているので、その理由も含めて事業継続かを考える必要がある。
	③建物としてのスペースや機能を十分に活用しているか。活用余地があるなら、どういった活用方法か。貸室対象者に障害福祉サービス等事業者を追加することについて。	・貸室対象者に障害福祉サービス等事業者を追加すること自体は問題はないが、現状の利用者に影響がないように申請可能期間に差をつける等の配慮して欲しい。 ・現在の貸室の稼働率を考えると、稼働率を上げる方法があれば積極的に取り組んでほしい。障害者の活動場所としてのニーズには、積極的に対応してほしい。 ・ハートフルは広い施設で様々な用途がある。大会議室は50％の稼働率であるが、他の部屋に関しては音楽室、第1・2会議室の利用率は上がっているものの、他の部屋は一昨年からそれほど利用率は変化していない。そのため市民の人がもっと出入りするようなイベントも含めて実施したり、障害の方と市民がもっと出会うような活用が必要だと思う。貸室対象者にサービス事業者を追加することは良いと思う。 ・日頃出入りしていての肌感覚にはなりますが、スペースの活用の余地はまだ少しあると思います。また貸室対象者に障害福祉サービス等事業者を追加することについては、相談支援事業所としては、サービス担当者会議を開催する場所に困ることがあるので、使用させてもらえるようになれば助かります。
市立地域活動支援センターが担うべき役割について	市内地域活動支援センターの数の減少等に伴う地域活動支援センターの再編に当たり、より効果的なものにするには、どのような手法が考えられるか。	・Ⅲ型に変わって利用者が増えるようなら、現状でも職員数が少なく感じられるので、人員配置の適正化を図ってください。 ・現在の利用者のうち、他の障害福祉サービスを利用している方もいることから、「他の障害福祉サービスを利用していても利用できる場所」（居場所機能の強化）としての利用を促進できないか。 ・地域活動支援センターの減少や再編にあたり、市民の方と障害を持たれた方が相互に出会う機会をつくり、市民の理解や支援を得るような取り組みが大切かと思っています。 ・今回の再編によって、現在利用されている方々の生活にどのような影響が生じるのかについては、丁寧に検討する必要があると考えます。９月に利用者説明会が実施されたとのことですが、利用者やご家族からはどのような意見や不安が寄せられたのでしょうか。また、そうした声を今後の再編計画にどのように反映していく予定なのか、お聞かせいただけたらと思います。現在の利用者にとって必要な支援が、再編後もできる限り継続できる仕組みを検討することが重要かと思います。日中活動の場が変わると、他のサービス利用や生活全体にも影響が及ぶ可能性があります。そのため、利用者一人ひとりの生活状況や支援ニーズを把握し、必要に応じて相談支援専門員などの関係者とも連携しながら、十分な対話を重ねて進めていただきたいと考えます。さらに、今回の再編の背景としてⅡ型の利用者数の減少が挙げられていますが、その要因についても、もう少し丁寧な分析が必要ではないかと感じています。単純に利用ニーズが減少しているのか、それともニーズはあるものの、利用条件やサービス内容、利用環境などの理由から利用につながっていないのかによって、今後求められる対応も異なると思います。再編を進めるにあたっては、利用実績だけでなく、潜在的なニーズや現在の利用者への影響も含めて検証し、利用者の生活の質や地域での暮らしを支える機能が維持・充実される方向で、検討を深めていただきたいと思います。